

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 エフアンドエム

上場取引所 東

 コード番号 4771 URL <http://www.fmltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森中 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 森山 大

TEL 06-6339-7177

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,089	7.1	406	49.5	409	48.5	213	83.0
25年3月期第3四半期	2,885	3.6	271	2.5	275	4.1	116	△0.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 215百万円 (88.5%) 25年3月期第3四半期 114百万円 (△0.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	14.90	—
25年3月期第3四半期	8.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	5,183	4,198	80.8	291.54
25年3月期	5,104	4,071	79.5	282.49

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,186百万円 25年3月期 4,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成26年1月31日)公表いたしました「平成26年3月期 期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,244	5.4	560	11.1	572	11.9	294	7.3	20.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	15,481,400 株	25年3月期	15,481,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,121,398 株	25年3月期	1,121,269 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	14,360,043 株	25年3月期3Q	14,360,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、いわゆるアベノミクスの効果などにより株高・円安の傾向が継続しています。この影響で主に輸出関連企業の業績が大幅に回復しており、一部の企業では賃上げの事例が見られるなど、景気回復への期待も現実的なものになりつつあります。

また、消費税率の引き上げが決定された影響により、その反動が懸念されるものの、高額商品等の駆け込み需要も発生しており、小売・不動産業を中心とした内需回復の期待も高まっています。

このような経済状況のもと、当社グループは主要事業の会員数の増加に努めるとともに、サービス内容の拡充と業務の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高30億89百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益4億6百万円（同49.5%増）、経常利益4億9百万円（同48.5%増）、四半期純利益2億13百万円（同83.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(i) アウトソーシング事業

生命保険営業職員を中心とする個人事業主に対する記帳代行に関しましては、前期から引き続き会員数の増加に注力してまいりました。平成26年1月より白色申告者に対して記帳が義務化される法改正を受け、シェア拡大を目的にしたキャンペーン料金を設定しました。そのため一時的に顧客単価は下がっておりますが、確実に深耕拡大が進んでおります。

その結果、当第3四半期連結会計期間末（平成25年12月31日）の記帳代行会員数は47,664名（前期末比8,234名増）となりました。

この結果、アウトソーシング事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は12億79百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は4億25百万円（同6.8%減）となりました。

(ii) エフアンドエムクラブ事業

中堅中小企業の総務経理部門に対する各種情報提供サービスを核とするエフアンドエムクラブ事業は、総務業務関連の情報提供サービス、経営・財務面での情報提供サービスの販路拡大とサービス拡充に努めました。財務関連情報提供サービスは、会員企業の財務諸表からキャッシュ・フロー診断を行い、資金戦略を支援する『財務サポートサービス』、格付診断書を作成し、診断結果をベースに改善すべき点を洗い出し、将来の財務体質の強化、銀行からの格付を改善することを目指す『格付診断サービス』、短期の経営計画立案を支援し、これをキャッシュ・フローに置き換えて可視化する『CF決算予測』が、引き続き反響を得ております。また、人材育成のサポートとして各種研修を提供しておりますが、実務系のプログラムを充実させるなどして受講対象者を広げるとともに提案力強化に努めました。

会員企業数の増大に向けては、新たなチャネルの開拓を進め、一定程度の成果を得ることができました。また、セミナー開催あたりの成約率向上のための営業力の強化に努めました。会員企業へは、コールセンター部門からの電話によるフォロー活動の継続的な実施、企業が抱える本質的な課題を顕在化させ、その課題解消のための具体的な取り組みを企業が自ら考え実施するためのサポートを行うことで契約更新率の向上に注力いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末（平成25年12月31日）のエフアンドエムクラブ会員数は4,070社（前期末比119社増）となりました。

この結果、エフアンドエムクラブ事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は9億92百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は3億30百万円（同21.5%増）となりました。

(iii) タックスハウス事業

ワンストップ・ファイナンシャルショップを目指す税理士・公認会計士のボランタリーチェーン「TaxHouse」の本部を運営するタックスハウス事業は、各加盟店の収益力を向上させるため、加盟店が関与先企業に対して資金繰りのコンサルティングや金融機関対策など高付加価値サービスを提供するための継続的な研修の充実に注力いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末（平成25年12月31日）の「TaxHouse」加盟事務所数は396件（前期末比14件減）となり、ランチを含めた加盟店舗数は416店舗（同16店舗減）となりました。

生命保険営業職員に限らない一般の記帳代行会員に対する記帳代行業業については、引き続き会員数の増加に注力いたしました。あわせて顧客満足度向上と継続率向上を目的に電話とSNSの活用によるフォロー活動を行っております。その結果、当第3四半期連結会計期間末（平成25年12月31日）の生命保険営業職員に限らない一般の記帳代行会員数は3,048名（前期末比492名増）となりました。

この結果、タックスハウス事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は4億13百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は37百万円（前年同期は27百万円の営業損失）となりました。

タックスハウス事業では、中小企業経営力強化支援法に基づく経営革新等支援機関の認定を受け、業務提携先の

大阪シティ信用金庫及び関西アーバン銀行が抱える要支援先の中小企業に経営改善計画書の作成サポートサービスの提供を行っております。当第3四半期連結会計期間末(平成25年12月31日)の支援先は84社となりました。

また、中小企業庁の「ものづくり補助金(ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金)」の第2次公募では19社の申請について支援し、15社が採択されました。現在審議が進んでいる平成25年度補正予算案では、「新ものづくり補助金(ものづくり・商業・サービス革新補助金)」が組み込まれておりますが、予算成立を視野に提携金融機関や機械商社と連携し、更なる支援ができるよう体制を整えてまいります。

(iv) 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は大阪本社が所有するビルの賃貸収入で、安定した収益を計上しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は47百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益は24百万円(同8.4%増)となりました。

また、当社は平成25年12月に不動産賃貸事業の強化と安定的な収益の確保の一環として、新たに大阪府にて不動産収益物件を取得いたしました。なお、当期の連結業績に与える影響につきましては、平成25年10月30日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に織り込んでおります。

(v) その他事業

その他事業は、連結子会社エフアンドエムネット株式会社のシステム開発事業、資格学校アテナの運営及びFC指導事業等になります。

エフアンドエムネット株式会社では、創業間もない企業の経営者や経理担当者の業務を軽減する給与計算システム「助っ人!給与」に続いて、中堅中小企業の業務効率向上を目的とした、クラウド型顧客管理システム「助っ人!顧客」を新たにリリースしました。また、中堅中小企業が自社の顧客との関係を強化する支援として、企業オリジナルのスマホアプリの制作を受託しております。

資格学校アテナの運営においては、タブレット端末を活用した講座への集客に引き続き注力いたしました。

この結果、その他事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は3億56百万円(前年同期比38.5%増)、営業利益は24百万円(前年同期は11百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は23億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億54百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が5億32百万円、繰延税金資産が30百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は28億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億34百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が6億36百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は51億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ79百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は6億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が73百万円増加した一方、未払法人税等が61百万円、賞与引当金が55百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は3億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主にその他固定負債が59百万円増加した一方、長期借入金が60百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は9億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は41億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億26百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益2億13百万円、剰余金の配当86百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.8%(前連結会計年度末は79.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月30日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,467,460	1,935,345
受取手形及び売掛金	302,470	307,660
商品及び製品	12,570	12,728
仕掛品	10,383	9,150
原材料及び貯蔵品	2,977	3,249
繰延税金資産	72,332	41,703
その他	38,880	44,148
貸倒引当金	△40,280	△41,908
流動資産合計	2,866,793	2,312,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	888,870	1,180,211
工具、器具及び備品(純額)	78,291	76,452
土地	729,631	1,076,627
有形固定資産合計	1,696,793	2,333,291
無形固定資産		
のれん	10,202	9,602
その他	133,729	122,844
無形固定資産合計	143,931	132,447
投資その他の資産		
投資有価証券	10,043	13,492
繰延税金資産	19,226	12,885
滞留債権	110,987	127,879
差入保証金	151,393	152,345
保険積立金	199,518	207,640
その他	31,607	22,386
貸倒引当金	△126,037	△130,712
投資その他の資産合計	396,738	405,916
固定資産合計	2,237,463	2,871,654
資産合計	5,104,257	5,183,732

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,264	9,563
短期借入金	85,200	80,000
未払法人税等	124,221	63,202
賞与引当金	132,131	77,130
その他	315,506	389,256
流動負債合計	666,324	619,152
固定負債		
長期借入金	320,000	260,000
負ののれん	2,543	2,407
その他	44,221	104,047
固定負債合計	366,764	366,454
負債合計	1,033,088	985,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	907,401	907,401
資本剰余金	2,085,810	2,085,810
利益剰余金	1,332,197	1,459,992
自己株式	△271,329	△271,367
株主資本合計	4,054,079	4,181,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,518	4,738
その他の包括利益累計額合計	2,518	4,738
新株予約権	3,249	3,194
少数株主持分	11,320	8,355
純資産合計	4,071,168	4,198,125
負債純資産合計	5,104,257	5,183,732

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,885,688	3,089,236
売上原価	873,157	915,189
売上総利益	2,012,530	2,174,046
販売費及び一般管理費	1,740,924	1,767,916
営業利益	271,606	406,129
営業外収益		
受取利息	5,496	4,819
受取配当金	313	360
助成金収入	2,180	817
負ののれん償却額	135	135
業務受託料	1,129	1,121
保険事務手数料	242	183
除斥配当金受入益	1,214	1,021
その他	1,401	959
営業外収益合計	12,113	9,419
営業外費用		
支払利息	7,783	6,321
その他	387	66
営業外費用合計	8,170	6,387
経常利益	275,550	409,161
特別利益		
関係会社株式売却益	—	3,178
新株予約権戻入益	54	54
特別利益合計	54	3,232
特別損失		
固定資産除却損	5,290	2,907
投資有価証券評価損	9,499	—
関係会社整理損	1,613	—
たな卸資産評価損	198	—
特別損失合計	16,601	2,907
税金等調整前四半期純利益	259,003	409,486
法人税、住民税及び事業税	109,966	160,933
法人税等調整額	36,467	35,740
法人税等合計	146,433	196,673
少数株主損益調整前四半期純利益	112,569	212,812
少数株主損失(△)	△4,342	△1,142
四半期純利益	116,911	213,955

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	112,569	212,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,476	2,219
その他の包括利益合計	1,476	2,219
四半期包括利益	114,045	215,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,387	216,174
少数株主に係る四半期包括利益	△4,342	△1,142

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。